

●概要

- ・内容 : 「modeFRONTIER」個別講習会
- ・講習日時 : 2024 年 9 月 25 日
- ・場所 : エス・エー・アイ社内会議室
- ・参加者 : (社員) 松平、本田 (学生) 石川、澤田

●内容

1. はじめに

modeFRONTIER® (以下、mF) 導入検討にあたり、個別講習会を開催しました。

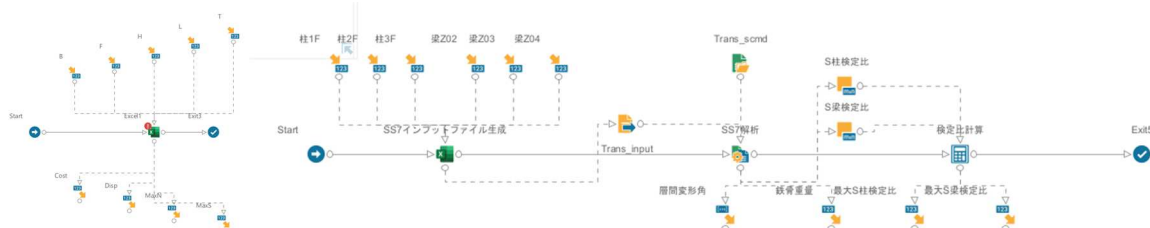
mF は、設計の意思決定を支援するツールで、解析条件の設定、解析実行、結果の出力といった一連の流れを自動化することで多量の検討ケースを短時間で行うことができます。また、結果の集約、多様な分析ツールも実装されており、多面的・多角的な視点で結果について傾向を即座に把握し最適なケースを選択することができます。昨今の設計の効率化、最適化のトレンドに合わせて社内でも導入の動きがでました。

一方で、そうしたツールを導入するにあたり何となくですが敷居の高さを感じていたため、実際の検討事例をもとに知識・技能の習得を目的とした講習会を開催しました。

2. 講習内容

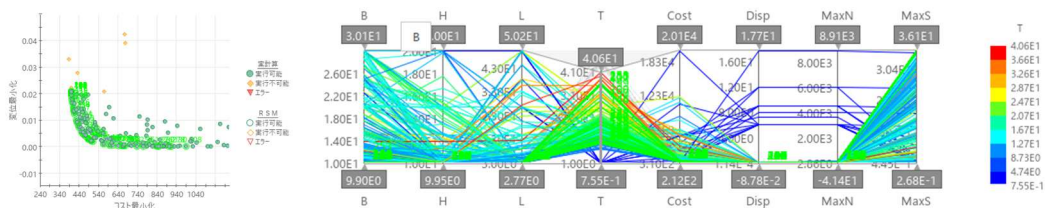
講習 1 では、シンプルな題材をもとに mF と Excel を連動させたパラスタ検討方法について習得しました。

講習 2 では、mF と一貫計算プログラム(SS7)を連動させる方法について習得しました。



©ESTECO S.p.A All rights reserved

mF 画面の作成例(作成途中のもの)



©ESTECO S.p.A All rights reserved

mF 画面の結果例

●所感

最適化ツールは、直感や経験に基づく傾向の把握を明確に可視化することができ、他者との情報共有という面でも非常に優れたツールである。一方で、得られた結果を分析して設計に活かすという技術は短時間で身に付くものではないので、ツールの結果を表面的になぞるといったもったいない使い方をするのがないよう試行錯誤しながらじっくりと取り組んでいきたい。

今回、株式会社 IDAJ の上村様には講習会の手配をいただき、原様には講習会のために遠方より足を運んでいただきました。この場をかりて御礼申し上げます。

modeFRONTIER は、ESTECO S.p.A により開発されました。(日本国内での販売・技術サポートは株式会社 IDAJ)